

# INTEGRATION COLLECTION

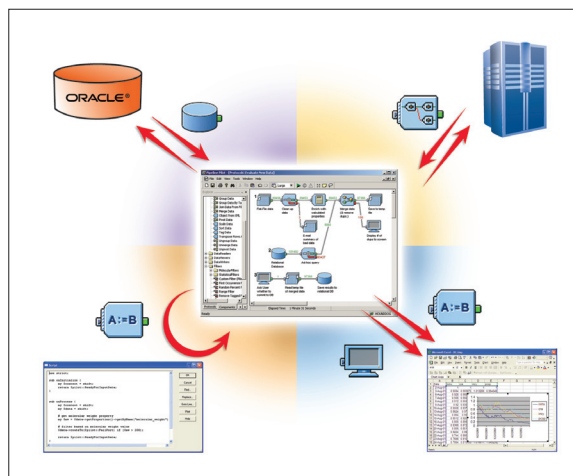
Pipeline Pilotプラットフォームの大きな強みは、既存のコンピュータ資源を1つの作業環境に統合できることです。Integration Collection は、外部のアプリケーションやデータベースを Pipeline Pilot のデータ処理プロトコルにシームレスに関連付ける、多くの柔軟な機能を備えています。外部のツールが新しいコンポーネントとしてコンポーネントライブラリに統合、追加された後は、そのコンポーネントを他の Pipeline Pilot コンポーネントと同様に使用できます。これは、外部アプリケーションがどこにあるか、あるいは統合処理がバックグラウンドでどのように実行されるかには関係しません。Integration Collection の高度な統合機能を利用すると、適切なユーザーインターフェースが無いと利用が難しいシステム機能を、エンドユーザが簡単に覚えることができ、また、利用することができます。

## INTEGRATION COLLECTIONを使用すると、次のことが実現できます。

- ・ データを検索し、自社のデータベースに結果をそのまま格納
- ・ 社内またはサードパーティの既存プログラムをコンピュータサービスとして統合
- ・ 標準のスクリプト環境を使用して新規コンポーネントを短時間で開発
- ・ データの表示と後処理を共に行う対話形式のデスクトップアプリケーションと統合

## 外部データベースのアクセス

Pipeline Pilot のコンポーネントにデータベース接続の設定をすると、データの作成、登録、検索、結合、および更新が可能になります。Oracle や SQL/Server などの業界標準データベースを Open Database Connectivity (ODBC) を通じて Pipeline Pilot と結合できます。分子、生物データベースの統合用テンプレート、および Daylight、IDBS などのベンダーのカートリッジ技術用テンプレートが提供されています。



高機能なこれらのコンポーネントを使用すると、外部のアプリケーションや機能を統合し、新しいコンポーネントを作成することができます。

## 外部アプリケーションの統合

社内で開発したアプリケーションやサードパーティのアプリケーションを、Pipeline Pilotのコンポーネントとして組み込むために、以下のような様々な技術を使用できます。

- Run Program コンポーネントを使用すると、Pipeline Pilot サーバで実行するコマンドラインのアプリケーションを統合できます。コマンドラインの呼び出しを目的のアプリケーションに指定し、入力と出力のファイル名を指定します。コードを作成する必要はありません。
- Telnet/FTP コンポーネントは、Run Program と似ていますが、ネットワーク上にあるリモートサーバで実行するコマンドラインのアプリケーションを統合できます。
- VBScriptコンポーネントを使用すると、COMインターフェースを公開しているアプリケーションを統合して自動化できます。これらのアプリケーションは、グラフィカル・ユーザ・インターフェース(Microsoft Officeなど)であっても、キャラクタ・ユーザ・インターフェースであってもかまいません。
- SOAP (Simple Object Access Protocol)コンポーネントを使用すると、Webサービスとして公開されたアプリケーションを統合できます。SOAPとは、HTTPやXML、などの従来のインターネット技術を使用して、アプリケーション間の通信を行うために規定した、プラットフォームに依存しないプロトコルです。
- Java、Perl、VBScriptなどの標準言語で、外部のアプリケーションの統合やデータの読み込み、書き込み、表示、操作などの新しいコンポーネントを作成することもできます。これらのコンポーネントは、BioPerlやBioJavaなどで書かれたアプリケーションと簡単に統合できます。このコンポーネントはPipeline Pilotと同じプロセスで実行されるため、パイプラインを流れるように早く柔軟にデータにアクセスできます。これらの言語はそれぞれ、データとコンポーネントのインターフェースを表現するオブジェクトモデルに準拠しています。

## 開発者の情報源

Integration Collectionには、詳細な資料と実例が併せて提供されます。Pipeline Pilotの開発者のコミュニティをサポートする最新の資料、ヒント、FAQおよびAPIリファレンスについては、弊社のWebサイトを参照して下さい。Webサイトでは、他のPipeline Pilot開発者と情報のやり取りをして、経験を共有する手段も提供されています。

Pipeline Pilotの詳細については、次のURLを参照して下さい。  
<http://accelrys.co/products/pipeline-pilot>